

北海道胆振東部地震

災害対策で札幌市に ガス発電機など寄贈

三井住建道路

三井住建道路は、9月に発生した北海道胆振東部地震での被災を踏まえ、札幌市に対し、LPGガス発電機などの災害対策用品を寄贈した。松井隆幸社長は「地域から必要とされる企業として今後も支援活動を通じていきたい。万一の備えとして役立ててほしい」とコメントした。

目録を手渡す松井社長④



北海道胆振東部地震では、札幌市でも最大で震度

6弱を観測。市内全域で停電や断水が発生し、エネルギー不足に陥るなどの被害があった。

同社ではこうした状況を踏まえ、市営地下鉄沿いの道路で地盤沈下が起こるなど、市内でも被害が大きかった東区に対し、LPGガス発電機とカセットガスストーブを今後の災害対策用として寄贈した。

市から「災害対策に大きく寄与する」などとして感謝状が贈られた。

2018年11月21日付 建設工業新聞(6面)

災害対策用品を寄贈

札幌市、松井社長に感謝状

三井住建道路

三井住建道路は15日、今年9月に発生した北海道胆振東部地震によって

停電や燃料不足などの課題が生じたことを踏まえ、札幌市東区災害対策用品としてLPGガス発電機とカセット

松井社長に感謝状を手交する。松井社長は東区役所を訪れ、秋元克弘札幌市長宛てに目録



同日、松井隆幸社長は東区役所を訪れ、秋元克弘札幌市長宛てに目録

を贈呈し、札幌市側からは松井社長に対し「甚大な被害を受けた札幌市東区に対しいち早く特段の御芳志を寄せられましたことは本市の災害対策に大きく寄与するもの」と深い感謝の意を表す感謝状が贈られた。

災害対策用品を寄贈した後、松井社長は「地域から必要とされる企業として今後も支援する取り組みを続けていきたい。万一の備えとして役立ててほしい」と話した。

2018年11月20日付 建設産業新聞(2面)

災害対策用品を 札幌市に寄贈

三井住建道路

三井住建道路（松井隆幸社長）は、札幌市に防災活動の一環としてLPガス発電機とカセットガストーブを寄贈した。松井社長や役員らが東区役所を訪ね、目録を手渡す一方、札幌市から感謝状が贈呈された一写真。



同社では、北海道胆振東部地震で停電や燃料不足などが生じたことを踏まえ、防災活動の一環として札幌市に災害対策用品の贈呈を決めた。

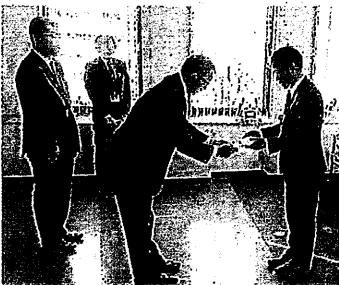
贈呈式で松井社長は「地域から必要とされる企業として、今後も取り組みを続けていきたい」と述べたうえで「万一の備えとして役立てて欲しい」と話した。



札幌市にガス 発電機など寄贈

三井住建道路
防災活動へ協力

三井住建道路(本社・東京)は15日に東区役所を訪れ、ガス発電機やガスストーブなどの災害時に役立つ備品を贈った。写真。



北海道胆振東部地震で停電や燃料不足などの課題が生じたことを踏まえ、防災活動への協力の一環として、防災用品を寄贈することにした。

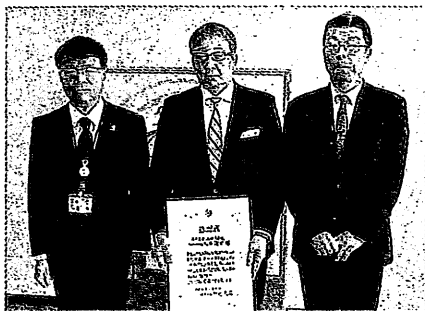
発電機は取り扱いが容易なLPガス式、ガスストーブはカセットボンベ式を用意した。札幌市では区役所やまちづくりセンターに配備する予定。

松井隆幸社長は「地域から必要とされる企業として今後も支援する取り組みを続けたい。万一の備えとして役立ててほしい」と話した。

2018年11月21日付 北海道建設新聞

三井住建道路へ感謝状授与 市にガス発電機等寄贈

支援物資の提供活動で札幌市



感謝状を手にする
松井社長(中央)
と武藤支店長
(右)

札幌市に対する支援物資の提供活動が評価され、市から感謝状が贈呈された。

同社では、発災後に全道一円を襲った停電や燃料不足などへの対応を考案。北海道支店を構える札幌市にLPガス発電機ならびにカセット

三井住建道路(株)(東京、松井隆幸社長)は15日、北海道胆振東部地震において

ガスストーブをそれぞれ災害対策用品として寄贈した。

当日は本店から駆けつけた松井社長と、武藤政治執行役員支店長が東区役所を訪問。支援物資の目録を贈ったあと、「地震被害に対するいち早い支援で、市の災害対策に大きく寄与した」として秋元克広市長からの感謝状を受け取った。

松井社長は「地域から必要とされる企業として今後も支援する取組を続けていきたい。物資は万一の備えとして役立ててほしい」と一層の支援活動に意欲を示した。

2018年11月21日付 北海道通信